

頌栄幼稚園の玉入れ決定

まだまだ考えることがいっぱい玉入れでしたが、やっと頌栄幼稚園の玉入れルールが決まりました。まずは、かごの高さ。

①年少組は今まで通り、一番低い高さ。②年中組は少しかごの高さをあげる。③年長組はそれをゲームボックスの上のせる。この3段階に決まりました。(一番低い高さでは、年長組は手が届いてしまうのです。)



準備は全て年長組の役割です。

高くなったかごをゲームボックスの上にあげるのは大変です。ゲームボックスを置く子、かごを持ち上げる子に分かれて頑張っています。

入っている玉が落ちそうでちょっとドキドキ。慎重に、慎重に。

こんなに高い！！なかなか入らないよ。

実は・・・この玉入れの時に事件が！

赤組のかごの網に穴があいて、何個か玉がこぼれてしまったのです。その時にすかさず、「先生、テープ、テープ。」と年長組が慌ててやってきて、修理してくれました。

(赤白とも新しい網に交換するので、今度からは大丈夫。)これが、結果にひびくかも。



しかし、この後にもまたまた事件が・・・！



玉を数えるので、年長組が下に落ちている玉を片付けました。さあ、数えよう。



綺麗に片付けたのはいいのですが、なんと赤組はかごに入っていた玉も全部片付けてしまったのです・・・。ということで、この勝負「白組の勝ち。」(気付いた赤組の子が2つだけ返しにきていましたが、大差で白組の勝ちでした。)年少・年中組は意味が分からず、「負けちゃった。」という感じでした。年長組は自分達がしたことなので、誰もクレームを言う子はいませんでした。

「失敗は成功のもと」これが次へとつながります。

別の日、年中組が玉を数えることになり、どうやったら玉を数えるのが分かりやすくなるのか、いろいろ試しながら決めました。

玉を持ったら、赤い椅子に座って。

審判の声に合わせて1人ずつ玉を投げます。でも声に合わせて投げてしまったり、自分の番なのに座ったままだったり、進みません。



○くんが1番で、○ちゃんが2番。分かった？

後ろに立って教えてあげる。



離れすぎて見えない。
2人で1チームずつ見よう。(1人は赤、1人は白)

真ん中に
並んだらいいやん。



1, 2・・・。
あれっ？今どっち見るの??

台の上でよく分からなくなり、キョロキョロ、クルクルする審判さん。やっぱり見えないよ。



これで審判さんもキョロキョロせずに数えられますね。

でも数日後、並び方が変わりました。どうなったのかは運動会当日見てください。

玉の投げ方もいろいろです。上に投げる子、力まかせに投げる子・・・どう投げたらみんなが分かるかな？

リハーサルの日。白組は負けてしまいました。1回戦の年少組対決の時は明らかに白組が勝っていました。しかし、全部終わると、赤の勝ち。「何で負けたのかなあ。」とつぶやきながら帰る白組の年少さん。自分達の時はずっと勝っていたのに？どうして??不思議だったようです。少・中・長の力を合わせて頑張れ!! 当日、たくさんの応援よろしくお祈りします。